

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 東海財務局長

**【提出日】** 平成25年8月7日

**【四半期会計期間】** 第86期第1四半期(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

**【会社名】** フジオーゼックス株式会社

**【英訳名】** FUJI 00ZX Inc.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 深谷 研 悟

**【本店の所在の場所】** 静岡県菊川市三沢1500番地の60

**【電話番号】** (0537)35-5873

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役 野 地 俊 広

**【最寄りの連絡場所】** 静岡県菊川市三沢1500番地の60

**【電話番号】** (0537)35-5873

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役 野 地 俊 広

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第85期 第1四半期 連結累計期間	第86期 第1四半期 連結累計期間	第85期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成25年4月1日 至平成25年6月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高 (千円)	4,028,793	3,822,771	15,939,679
経常利益 (千円)	400,946	499,042	1,418,053
四半期(当期)純利益 (千円)	248,094	306,487	839,559
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	378,416	502,613	1,079,571
純資産額 (千円)	20,115,887	21,113,956	20,714,215
総資産額 (千円)	23,345,518	24,112,453	23,962,985
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	12.07	14.92	40.86
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	85.5	86.8	85.8

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社企業集団において営まれている事業の内容について重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、国内及び米国経済に回復の兆しが伺えるものの、中国をはじめとする一部新興国の経済成長の鈍化や、欧州経済の長期低迷など世界経済の下振れリスクの懸念があり、先行き不透明な経済環境が続いております。

当社グループが属する自動車業界では、円高の是正から輸出は回復傾向が見られ、国内需要もエコカー補助金終了に伴う国内需要低迷からの穏やかな持ち直しの動きがみられます。

このような状況の中で当社グループは、新たな成長を目指し将来を見据えたグローバル体制の構築や新技術・新工法の開発に加え、現場力の強化を図り、コスト削減にも取り組み収益改善に努めました。

これにより、売上高は3,823百万円（前年同期比206百万円減）、営業利益は336百万円（前年同期比17百万円減）、経常利益は499百万円（前年同期比98百万円増）、四半期純利益は306百万円（前年同期比58百万円増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### 自動車部品製造

自動車部品製造につきましては、エコカー補助金終了に伴う国内需要低迷からの穏やかな持ち直しがみられ売上高は3,635百万円（前年同期比173百万円減）、セグメント利益（営業利益）は316百万円（前年同期比0百万円減）となりました。

#### 流通

流通につきましては、自動車部品の取引量に連動し、売上高は187百万円（前年同期比33百万円減）、セグメント損失（営業損失）は9百万円（前年同期はセグメント利益10百万円）となりました。

#### (2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は24,112百万円となり、前連結会計年度末に比べ149百万円増加しております。

#### （流動資産）

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は14,991百万円と前連結会計年度末に比べ146百万円減少し

ております。

主な要因は次のとおりであります。

- ・法人税等の納付等により現金及び預金が314百万円減少しております。
- ・受取手形及び売掛金が109百万円増加しております。

( 固定資産 )

当第1四半期連結会計期間末の固定資産は9,122百万円と前連結会計年度末に比べ296百万円増加しております。

主な要因は次のとおりであります。

- ・持分法による投資利益の増加等により投資その他の資産(その他)に含まれている子会社・関係会社株式が168百万円増加しております。
- ・設備投資を実施した結果、有形固定資産が92百万円増加しております。

( 流動負債 )

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は2,788百万円と前連結会計年度末に比べ259百万円減少しております。

主な要因は次のとおりであります。

- ・未払法人税等が483百万円減少しております。

( 固定負債 )

当第1四半期連結会計期間末の固定負債は211百万円と前連結会計年度末に比べ8百万円増加しております。

( 純資産 )

当第1四半期連結会計期間末の純資産の残高は21,114百万円と前連結会計年度末に比べ400百万円増加しております。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は44百万円であります。

(5) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

今後の国内経済の見通しにつきましては、円高の是正や株価の持ち直しなどの動きから景気回復が期待される一方で、欧州債務問題の長期化や中国経済の成長性鈍化など、下振れリスクを抱え不透明な経済環境が続くものと予想されます。

また、国内の自動車需要は今後大幅な増加は見込めず、また海外での現地生産化が進展しており、更なる輸出の伸びは期待することができないことから、厳しい事業環境が続くものと予想されます。

このような状況の中、当社グループではグローバル化への対応として、インドネシア共和国にPT. Prospect Motorと合併でPT. FUJI 00ZX INDONESIAを新たに設立し、2014年度下期の操業に向け準備を進めてまいります。また中国子会社である富士気門(広東)有限公司で素材から鍛造、機械加工を行う一貫生産の本格的な運用を開始し、売上増加と財務状況の改善を図ってまいります。

また国内では物造りにおけるマザー工場として、新技術・新工法の開発に加え、現場力向上を目指します。さらに原価低減活動による利益の確保、経費削減活動による固定費の低減などに取り組んでまいります。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 未現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月7日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	20,559,500	20,559,500	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数は 1,000株であります。
計	20,559,500	20,559,500	-	-

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金 増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年4月1日 ~ 平成25年6月30日		20,559,500		3,018,648		2,769,453

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 12,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 20,532,000	20,532	-
単元未満株式	普通株式 15,500	-	1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	20,559,500	-	-
総株主の議決権	-	20,532	-

(注) 1. 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株(議決権の数1個)含まれております。

2. 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社保有の自己株式95株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数の 割合(%)
(自己保有株式) フジオーゼックス株式会社	静岡県菊川市三沢 1500番地の60	12,000	-	12,000	0.0
計	-	12,000	-	12,000	0.0

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。



1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,750,594	7,436,145
受取手形及び売掛金	2 3,833,314	2 3,941,854
商品及び製品	549,913	604,083
仕掛品	476,218	529,994
原材料及び貯蔵品	606,512	612,979
その他	1,926,515	1,871,664
貸倒引当金	6,000	6,000
流動資産合計	15,137,065	14,990,719
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,850,431	2,884,505
機械装置及び運搬具（純額）	1,521,674	1,498,390
土地	2,553,467	2,553,467
その他（純額）	392,191	473,125
有形固定資産合計	7,317,762	7,409,486
無形固定資産		
のれん	7,383	6,949
その他	28,422	41,537
無形固定資産合計	35,806	48,486
投資その他の資産		
その他	1,501,757	1,692,466
貸倒引当金	29,405	28,705
投資その他の資産合計	1,472,352	1,663,761
固定資産合計	8,825,920	9,121,734
資産合計	23,962,985	24,112,453
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2 1,586,865	2 1,585,056
未払法人税等	558,600	75,334
賞与引当金	51,437	39,865
役員賞与引当金	37,350	-
その他	2 812,383	2 1,087,623
流動負債合計	3,046,636	2,787,877
固定負債		
退職給付引当金	37,562	38,807
役員退職慰労引当金	3,375	3,800
環境対策引当金	24,499	24,499
その他	136,698	143,514
固定負債合計	202,134	210,620
負債合計	3,248,770	2,998,497

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,018,648	3,018,648
資本剰余金	2,769,453	2,769,453
利益剰余金	15,230,479	15,434,227
自己株式	5,896	6,029
株主資本合計	21,012,683	21,216,298
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	459,611	289,527
その他の包括利益累計額合計	459,611	289,527
少数株主持分	161,143	187,185
純資産合計	20,714,215	21,113,956
負債純資産合計	23,962,985	24,112,453

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	4,028,793	3,822,771
売上原価	3,156,624	2,971,467
売上総利益	872,169	851,305
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	154,273	167,647
賞与引当金繰入額	9,255	4,816
退職給付費用	26,174	11,393
その他	329,255	331,665
販売費及び一般管理費合計	518,957	515,522
営業利益	353,212	335,783
営業外収益		
受取利息	4,528	1,109
受取配当金	1,080	840
持分法による投資利益	51,908	70,461
為替差益	-	83,252
その他	21,216	19,406
営業外収益合計	78,733	175,068
営業外費用		
固定資産除却損	3,664	2,568
為替差損	16,424	-
賃貸収入原価	6,263	5,992
その他	4,649	3,249
営業外費用合計	30,999	11,809
経常利益	400,946	499,042
税金等調整前四半期純利益	400,946	499,042
法人税、住民税及び事業税	165,021	72,523
法人税等調整額	92	105,069
法人税等合計	164,928	177,592
少数株主損益調整前四半期純利益	236,018	321,450
少数株主利益又は少数株主損失( )	12,076	14,963
四半期純利益	248,094	306,487

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	236,018	321,450
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	54,701	44,381
持分法適用会社に対する持分相当額	87,698	136,783
その他の包括利益合計	142,399	181,164
四半期包括利益	378,416	502,613
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	372,441	476,571
少数株主に係る四半期包括利益	5,975	26,043

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 保証債務

関連会社の借入金に対して、次のとおり債務保証を行っております。

前連結会計年度 (平成25年3月31日)		当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)	
TRW Fuji Valve Inc.	165,519千円	TRW Fuji Valve Inc.	178,347千円
(1,761千ドル)		(1,808千ドル)	

2. 四半期連結会計期間末日満期手形等の処理

四半期連結会計期間末日満期手形等の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形等を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形及び売掛金	71,650千円	65,583千円
支払手形及び買掛金	9,093千円	51,285千円
流動負債 その他(未払金)	4,450千円	48,750千円
流動負債 その他(設備支払手形)	1,000千円	1,250千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	142,304千円	140,291千円
のれんの償却額	-千円	434千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	143,836	7.00	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月25日 定時株主総会	普通株式	102,739	5.00	平成25年3月31日	平成25年6月26日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	自動車部品製造	流通	
売上高			
外部顧客への売上高	3,808,904	219,889	4,028,793
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,771	134,022	135,793
計	3,810,675	353,911	4,164,586
セグメント利益	316,803	9,713	326,516

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	326,516
セグメント間取引消去	26,696
四半期連結損益計算書の営業利益	353,212

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な変動はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	自動車部品製造	流通	
売上高			
外部顧客への売上高	3,635,453	187,319	3,822,771
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,931	124,642	126,573
計	3,637,384	311,961	3,949,344
セグメント利益又は損失( )	316,497	9,224	307,274

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	307,274
セグメント間取引消去	28,509
四半期連結損益計算書の営業利益	335,783

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な変動はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	12円07銭	14円92銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	248,094	306,487
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	248,094	306,487
普通株式の期中平均株式数(株)	20,548,003	20,547,570

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。



## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 7月26日

フジオーゼックス株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 松井夏樹 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 今泉誠 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているフジオーゼックス株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、フジオーゼックス株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。